



片柳中学校だより

片柳

第11号 令和8年1月30日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

自分を見つめ、次の一歩を

校長 佐久間 貴宏

1月も終わりに近づき、寒さの厳しい日が続いております。節分・立春を控え、暦の上ではまもなく春を迎える時期となりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かなご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。3学期も2月に入り、1年生は次の学年への準備を、2年生は自然の教室に向けて、そして3年生は中学校生活の総まとめと進路実現に向けた大切な時期を迎えています。短い2月だからこそ、一日一日を丁寧に積み重ねていきたいものです。

さて、私事になりますが、年末からランニングを再開しました。ただし、自慢できるような距離ではありません。教諭として部活動の指導に関わっていた頃以来、実にほぼ十年ぶりの本格的な運動です。最初は思うように体が動かず戸惑いもありましたが、続けていくうちに少しずつ走る心地よさを取り戻しつつあります。一方で、久しぶりの運動の影響から膝に痛みが出てしまい、無理は禁物であることを改めて思い知らされました。

今後どのように練習を続けるべきか考えた際、本校でも研究を進めている生成AIに現状を伝えて相談してみました。すると、休養日の設定、ランニングではなく距離を長くしたウォーキングの併用、股関節や大腿部の筋力トレーニング、可動域を広げるストレッチなど、無理のない練習プランを提案してくれました。なるほどと思わせる内容であり、大変参考になりました。現在は、自分の体力に合ったプランに調整し、地道に取り組みを続けています。

また、ときどき中学生の息子と一緒に走るのですが、彼のジョギングのペースに私はもうついていくことができなくなりました。若い頃は脚力に多少の自信があった自分にとって、現実とのギャップをはっきりと感じた出来事でした。少し寂しさもありましたが、努力を重ねて成長してきた息子を頼もしく感じると同時に、今の自分を正しく受け止め、目標やペースを立て直すことの大切さに気付かされました。

この一連の経験は、学びにもそのまま重なります。大事なものは「がむしゃらに頑張る」ことだけではありません。自分の今の状態を知り（自己理解）、必要な情報を選んで活用し（情報活用）、無理のない計画で継続し（自己調整）、課題を見つけて工夫し（問題発見・解決）、言葉で振り返りを表現し共有する（言語能力・コミュニケーション）こと。本校が大切にしている非認知能力は、こうした日々の生活や学習の中でこそ育ち、多くの場面で力を発揮していくものです。そして、これらの力は、学校での学びをより良くするだけでなく、これからの人生を主体的に歩んでいくための確かな土台にもなっていきます。

2月は短い月ですが、短いからこそ日々の選択が学びの質と成長を左右します。私自身、ランニングを通して「続けること」「頼れる情報を選ぶこと」「今の自分に合ったペースを整えること」の大切さを改めて実感しました。生徒一人ひとりが自分の歩幅で前進できるよう、教職員一同、引き続き丁寧に支えてまいります。保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。